

令和4年第3回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和4年3月2日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 三尾 和樹 田島 雅子 小栗 仁志 橋本 あみる

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・伊藤事務局次長（兼）教育企画課長・河合事務局調整監（兼）幼児教育課長・丹羽文化スポーツ部長・松井文化スポーツ部次長・梶屋教育研修所長・伊藤施設計画推進室長（兼）工業振興課統括主幹・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・小池図書館長・青木中央公民館長・宮嶋鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第5号	令和4年度県費負担教職員の任免等の内申について	承 認
第2	議第6号	令和4年度中津川市教育委員会の方針と重点について	承 認

■教育長 4名の委員の出席を確認しました。ただいまから、令和4年第3回中津川市教育委員会を開催いたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議とします。

続きまして、日程第3、教育長報告を行います。前回以降の出席行事を中心に報告します。

2月18日は教頭会に出席しました。21日に予定されていた公立幼稚園連合会PTA評議員会は、残念ですが中止となりました。同日に行われた市長と末松安晴先生のウェブ会議は教育次長が代理で参加しました。また、翌日の東濃地区教育長会も、葬儀のため欠席しました。

25日は校長研修会に出席しました。今回は、卒業証書授与式の在り方、特に式後の児童生徒の在るべき姿について話し、人生の節目を生かした指導を十分に行うよう校長先生方に助言しました。私が校長のときの経験を振り返ってみると、すばらしい式中の姿があっても、終わった後は、母親からスマホを受け取り、友だちと写真を撮り合い、その後は家族の車に乗りランチに向かうのが慣例になっていました。私が赴任した学校では、9年間の義務教育最後の日だから自らの足で家までしっかり帰るのだと伝えました。また、学校を出るときには、校門又は昇降口辺りで校舎に一礼し「ありがとうございました」という謝意を示して学校を立ち去るべきだと指導しました。

28日からは、市議会3月定例会が始まりました。昨日は、阿木高等学校の卒業証書授与式でした。出席者を限定し、在校生の送辞も昨年と同様ビデオメッセージになっていました。今年も特別な形の卒業式でしたか、親や指導していただいた先生方に感謝の気持ちを伝える卒業生の姿が印象的で、阿木高校らしい卒業式でした。

なお、児童生徒の感染状況や、それに伴う学級閉鎖等の現状については、担当より別途報告させていただきます。

続いて今後の主な行事です。

3日から公立高等学校の入学選抜が始まります。8日は中学校で卒業式が行われます。私は、校長先生が退職を迎える蛭川中学校の卒業式に臨席します。委員の皆様にも教育委員会告示をしていただきます。よろしくお願いいたします。

9日からは市議会一般質問が始まります。11日は教頭会に、16日は文教民生委員会に、18日は予算決算委員会に出席します。

23日は公立幼稚園とこども園の卒園式、24日は小学校の卒業式が行われます。また、25日は小中学校の修了式と公立保育園の卒園式が行われます。

概要に記載がありませんが、月末には、臨時教育委員会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告します。

三宅事務局長。

■事務局長 それでは、前回以降の主な出席行事等について報告します。

初めに、新型コロナウイルス関連につきましては、オミクロン株が依然として猛威を振るっており、園・学校関係での陽性確認もまだまだ多く、第6波のピークを越えた感じはありますが、警戒を緩める状況にはないと思っています。教育委員会関係でも、前回の教育委員会以降3月1日までに90名余りの園児・児童等の陽性が確認されており、東小、付知南小、苗木小、中津川保育園、坂下小、付知保育園、落合小、二中、坂本小と多くの学校・園等で学級閉鎖、下野保育園、坂下保育園、付知保育園では休園の措置をとりました。こうした中で2月18日、25日に中津川市新型コロナウイルス対策本部会議が開催されました。明日3月3日も開催が予定されています。

また、3月は市議会定例会があり、2月28日に開会し本会議初日が開催され、田島委員の承認をいただきました。3月1日に一般質問が締め切られ、教育委員会関係では、田口議員からは「幼稚園・保育園ICTシステム導入について」、木下議員からは「ケア労働者の処遇改善について」、糸魚川議員からは「障がい者の社会参加について」、鷹見信義議員からは「コロナ感染防止対策について」、黒田議員からは「坂本文教地区・坂本小学校の校舎等の老朽化・安全性について」、合計5人の議員から一般質問の通告がありました。9日、10日が一般質問、16日に文教民生委員会、18日に予算決算委員会、29日に本会議最終日が予定されています。

その他の行事です。2月18日に市指名審査委員会として水道関係のプロポーザル審査、21日に市長と末松先生のリモート懇談に同席しました。25日の校長会は欠席させていただきました。

今後の予定です。3月8日に中学校卒業式、11日に新ふくおか小学校統合準備委員会、12日にめぐみ保育園移転新築竣工式、14日に神坂まちづくり協議会、23日にデンソーテン様からの寄附受領、24日に小学校卒業式と市指名審査委員会に出席予定です。

■教育長 続いて、文化スポーツ部からお願いします。

丹羽文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 これまでの主な行事と今後の予定について報告します。

3月6日が期限のまん延防止等重点措置については、明日コロナ会議がありますが、今週中に判断するとされております。文化スポーツの各施設でも、引き続き県

の方針に基づき感染防止対策の徹底をお願いしております。

主な行事ですが、2月19日から3月21日まで苗木遠山史料館で企画展を行っており、今日の岐阜新聞に報道発表があった「苗木遠山氏の流鏝馬」を開催しています。ぜひ足を運んでいただきたいと思っております。

2月22日、第5回公民館長会を開催しました。2月24日、子ども科学館在り方検討準備会を開催しました。子ども科学館については、市の施設の再編マスタープランの中で令和5年度に方針を固めることになっております。その中で子ども科学館の在り方、必要性について議論させていただきたいと考えています。

2月24日、熊谷守一画伯の二女で「熊谷榎つけちギャラリー」の館長でもあります、熊谷榎さんが93歳で突然お亡くなりになりました。非常に残念に思っております。今回の熊谷守一大賞展で榎さんがおみえになる特別展を企画したのですが、お年でもありこちらにおみえにならず、コロナの影響もあり心配していたのですが、こんなに急に亡くられるとは思っておりませんでした。現在、3月27日まで「熊谷榎つけちギャラリー」で特別展を開催しております。しかし、今回の企画展は、通常と同じような展示はしてあるのですが、その中に榎さんからのコメントが一つあります。今まで200回近く行った個展でしたがこれが最後ということで、こちらにいらっしゃると私も期待していたのですが、叶わず、本当に残念でした。

2月25日、第2回図書館協議会を開催しました。来年度、再来年度の新図書館について皆さんからご意見を色々いただいたところです。今回も一般質問で黒田議員から「図書館の引っ越し」や、「新図書館の館長を公募するのか」について質問がありました。しっかり説明したいと思っております。

2月28日、令和4年第1回中津川市議会定例会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議が、2月18日、2月25日に行われています。

今後の予定ですが、3月5日、第26回市民マレットゴルフ大会が高山見晴の郷で開催されます。3月8日、市立中学校卒業式が開催されます。私は神坂中学校に出席します。9日、10日に市議会一般質問が開催されます。文化スポーツ部への質問は、牛田議員から「中期事業計画の中で美術館構想を作るようになっていたがどうなっているのか」ということで、6月議会でも質問があったのですが、今は交流プラザに重点を置いているので、その先に後期事業計画の中で引き続き検討していきたいと考えています。

3月14日、第5回清流木曾川中津川リレーマラソン実行委員会がずっと延期になっていたのですが、開催する予定です。5月にできるような方向で準備したいと思っております。15日、遠山家伝来資料調査委員会を開催します。古文書の解読も

高齢化で、どなたか興味がある方、ぜひ古文書解読に足を運んでいただいてご協力
いただきたいと思います。16日は市議会文教民生委員会が開催されます。
今回、文教民生委員会からは「郷土資料の今後の在り方についてしっかり計画を作
って、総合的な統一したところに資料を展示したらどうか」というご提案もありま
した。また、これまでに残されてきた歴史資料の保管状況について意見書をいただ
くことになっております。17日は、社会教育委員の会、公民館運営審議会を開催
します。今年度最後ですが、委員の任期も今年度までとなっておりますので、これ
まで社会教育委員になられた方たちのご意見、これまでの成果をそこで報告させて
いただきながら、公民館の運営の在り方について、部としても方向性、方針、考え
方をお伝えしたいと思っております。

22日は市議会予算決算委員会、25日は最後の公民館長会があります。ここも
来年度人事異動で代わるメンバーもあると思いますが、引き続き公民館の在り方に
ついてはしっかり協議させていただきたいと考えています。3月29日、市議会の
最終日です。同日の夜、子ども金メダル授与式を文化会館ホールで開催します。田
島委員には引き続きよろしく申し上げます。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等がありましたらお願いしま
す。

三尾委員。

■三尾委員 文化スポーツ部長の報告の中で、予算決算委員会が3月22日とあり
ます。教育長と事務局長は18日です。2日間あるのですか。

■教育長 文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 全部で4日間あり、それぞれの部署が分かれているのでこの
日程になっています。

■教育長 ほかはよろしいですか。

ご質問等がないようでございますので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1 議第5号「令和4年度県費負担教職員の任免等の内申について」、
提案説明をお願いします。

氷室教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願い
します。

田島委員。

■田島委員 お疲れ様でした。国からは会社役員や会議の委員など、3割方女性を入れて進めていってくださると方針が出ていることなのですが、女性の上司が違和感なく活躍できている場が教育現場ではないかと見せていただいております。一方で、他の会社などは、女性の上司に対する男性の部下の対応が非常に下手というか上手くいってないところがたくさんあり、女性上司の活躍の足を引っ張っているというようなことを聞いております。教育現場、学校現場は女性上司の方々を上手に回しておられて、円滑に進んでいるのではないかと見せていただいております。しかし、女性幹部が少ないというのは、やはり何か理由があるのでしょうか。聞かせてください。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 委員ご指摘のとおり、女性管理職の登用については、県の教育委員会でも計画的に行っていると思います。一例を申しますと、東濃地区では4年前は女性の校長先生は13名だったと聞いております。来年度は26名配置されるということで、倍増しています。しかし、まだ割合的には途上だと思います。中津川市は、先ほど言った校長3名、教頭9名で少し伸びが少ないような感じもしますが、実は中津川市出身の校長先生がまだ少ない状況です。女性の校長先生が遠くへ赴任することは色々なこともあるので、多治見市と比べると女性の校長先生が少ないのは、地元の校長先生がまだ増えて来ないからではないかと感じています。女性の教頭先生も増えてきましたので、今後女性の校長先生もさらに増えることを期待しているところです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 市役所の幹部の方々はなかなか女性が増えず、女性から言わせると「別に幹部にならなくてもいい」ということも聞きます。一方で、教育現場というのは本当に男女の差がなくて、同じようにみんな認め合って進んでいるすごくいい現場なのにも関わらず、やはり女性は介護、子育て、家事というものをいまだに背負っていて、なかなか手が挙がらないのでしょうか。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 そうですね。家庭との両立という大変な状況の中ですが、段階的に、教頭先生の前に職員を束ねる教務主任という役割もあり、教育長とも話す中で、意図的に女性にも励ましの声をかけ、色々とバックアップして管理職を目指す体制を増やしていこうと努力しているところです。自分はそのまでは行かなくていいという考えの、力を持った女性職員もいるのですが、市内全体のことを考え、管理職になっていただきたい方には校長を通して、これからも声掛け、励ましの声を掛けて

いきたいと思っております。

■教育長 他はいかがでしょうか。

小栗委員。

■小栗委員 この時期はお疲れさまです。例年と比べて今回の人事異動は、人数的には多かったのでしょうか。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 転出入については例年通りの数と感じております。しかし、今年度の傾向として鮮明に出たのは、市外から中津川市に来てくれる方が大きく減少して配置が厳しい状況だったということです。結婚して他市でとどまっている方とか、元々中津川市出身の教員になりたい方が少ない時期が続いたとか、それを埋める講師の方もいるのですが、講師の方が採用試験にたくさん合格しても他市に行ってしまうとか、そういうことも挙げられました。また、育児休暇を取るときの権利も大事なことなのですが、育児で短時間、午前中だけ勤務ということを取得する教員も多くて、今年度も中津川市では7名いらっしゃいました。他市に比べると相当多く、多治見市よりも多いです。そのような方は担任を持っていただけないので、担任の数を確保したりすることが、今年度からずっと続くかもしれないと思いました。

■教育長 小栗委員。

■小栗委員 ありがとうございます。本当に大変な作業と一言で言うと簡単ですが、適材適所の中で人を動かすわけで、ご苦労もあり大変だったと思います。今回この異動を行ってみて、来年度以降に挙げられるような課題があれば教えていただきたいと思います。

■教育長 氷室教育次長。

■氷室教育次長 課題点として、まずは中津川市から教員になりたいという子どもたちを私たちは育てていく責任、使命があるということを感じています。やはりここ10年を見ていると、中津川市出身の教員が少ないことが一つあると感じます。各学校の校長先生方にもよく言うのですが、中津川市出身の教員、教員という職業に憧れを持つ子どもたちを育てていきたいと考えています。

2点目は、今回異動したくなくても市全体として異動しなくてはいけない教員もいるので、先生方の期待感やモチベーションを高めながら異動していただくように、先生のモチベーションを高めるような異動の計画を長いスパンを持って行っていく必要があるということを感じています。

3点目は、女性の管理職登用を増やしていくような対策をとっていきたいと思っております。

■教育長 他にご質問やご意見はございませんか。

では、ご意見ご質問等がありませんので、ご異議がなければ、議第5号については承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第5号「令和4年度県費負担教職員の任免等の内申について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第6号「令和4年度中津川市教育委員会の方針と重点について」、提案説明をお願いします。

梶屋教育研修所長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

橋本委員。

■橋本委員 中津川市教育の方針と重点にあります、「重点」の「安全・安心」の部分の「教育相談力の向上」というところです。ここに「不登校やいじめ」と具体的に書いてあるのですが、この不登校やいじめに関して、中津川市教育委員会としてはどの程度把握されていますか。また、把握されるための方法などの具体的に取組みなどはありますか。

■教育長 梶屋教育研修所長。

■教育研修所長 まず不登校については、毎月の長欠報告というものがあり、毎月各学校から誰が何日休んでいるのかの記録を上げていただいております。そういったことを通して、毎月の数字の変動についても捉えていくこともできております。いじめについても、各学校いじめアンケートをとり、普段の指導の中からいじめを認知した場合は、教育委員会にも報告を上げていただいておりますので、その時点で捉えるようになっております。

■教育長 教育次長。

■教育次長 今課題点として考えていることを少しだけ付け加えさせていただきます。不登校については、小学生の不登校率が増えてきています。なかなか要因はこれということにできず、多様化、複雑化しているので、家庭と関係機関と連携を取りながらやっていかななくてはいけないと思っております。

いじめについても、迅速にいじめの認知を上げていただいて、対応はしていただ

いているのですが、その後の学校の対応について少し課題点も感じています。教育長がよく指導の三原則と言って「迅速にやり、見届けていき、それを継続化していく」という「見届け」と「継続化」において、不登校対応についてもいじめの問題についても、課題点として来年度学校に指導していきたいと思っています。

■教育長 よろしいですか。

では他にご質問、ご意見ありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 橋本委員のご意見に関わるかと思うのですが、この頃「不登校」という文字が3文字では足りないぐらい深刻な問題になってきていると捉えています。今の説明の中に実態の捉えはこのように行っているというご説明がありました。しかし、もう一步踏み込んで、学校ごとのこの生徒指導体制と言いますか教師教育相談体制、その運営がどのように組織的になされているかというところを把握すべきだと思いました。学校によって非常にまちまちな対応で、窓口もまちまち、組織もまちまちというようなところがあります。せっかく生徒指導の中に生徒指導体制と位置付けていただきましたので、そういったところも把握していただけるとよろしいかと思いました。

■教育長 ご意見ありがとうございます。他にご意見やご質問はございませんか。

田島委員。

■田島委員 幼稚園、保育園の指導のところで「園児が感じたり、築いたり、試したり、表現したり」というところの「したり」です。一番下にも「共有したり、行ったり」と「したり」という言葉がすごくたくさん出てきています。他のところを読むと「したり」という言葉は一つも出てきません。ここで「したり」をこれだけたくさん使わなければならないのかと思います。「したり」を除いても「こと」とかいう言葉で続けていけるのではないかと思いました。これは書き癖みたいなものですよね。

■教育長 では、内容ではないですが、表記も統一感が必要だと思いますので、修正を加えたいと思います。

他はいかがですか。

小栗委員。

■小栗委員 内容について、方針と重点化に対しては、新しいもの、重点的に捉えるものでまた少し変えていただいているものがあって、このとおりにいただければ、本当に素晴らしいものになると思っています。

学校というのは当然子どもたちのためにあるものですが、学校で先生が子どもに与える影響ってすごく大きいと思います。私も何度かお話しさせていただいていま

すが、やはり先生たちが元気ではないと、学校の雰囲気や子どもたちに与える影響もあると思います。教える内容どうこうではなくて、家庭で言えば親であり、学校で言えば先生が元気ではないとだめだと思います。どうすれば先生たちが元気だとか、子どもたちの体調や状態をいち早くキャッチするかとか、そういう精神的状態をいかに保つかということを考えてみると、やはり労働時間の問題だとか、先生方もある程度のゆとりがないとそこへの気配りや目配りができないと思います。子どもたちのことを中心に行うのは一番ですが、先生たちの労働環境だとか仕事内容などをしっかりと行っていかないと、本来やらなくてはいけないことができなくなってしまうと思っています。

学校で子どもたちの微妙な変化にいち早く気づくことが、いじめや不登校を軽減させることにとても重要になると思うので、そういったところにもより力を入れていただきたいと思います。

■教育長 ご意見ありがとうございます。事務局から何か今の件についてありますか。

氷室教育次長。

■教育次長 ありがとうございます。本当に委員のおっしゃるとおり、県の働き方改革の大きなテーマとして、各先生方が笑顔で教壇に立てるよということ、労務管理等のことを各学校に指導しているところです。以前は時間外勤務が月100時間を超える先生が何人もいましたが、色々と各学校で業務改革とか意識改革を進めていただきます。今は月時間外勤務が45時間以上の方は出していただいているのですが、減ってきましたので、本当に委員のご指摘のように、笑顔で子どもたちの前に立てる教師というのを目指しながら、また各学校に労務管理等指導していきたいと思います。

■教育長 ほかはいかがですか。

田島委員。

■田島委員 健康教育のところで「児童が自ら進んで運動を適切に実践する習慣を形成する」とあります。保育園のところにも一つだけ運動のところがあります。しかし、このたくさんの方の文の中に「運動」に着目した部分がここしかないことが、とても気になっています。運動は心と頭には不可欠なもので、コロナ前から岐阜県の子どもの運動能力の低下というのが心配されているのはもうご承知だと思います。また2年間コロナがあり、表にも出ない、スポーツもなかなかできないということで、もっと低下しているのではないかと心配しています。パソコンの前に座るのも体力、考えるのも寝るのも体力、椅子にちゃんと座っているのも体力がいるということです。生き抜く力とうたってありますが、生き抜く力の一番の元って体力

ですよね。それが、勉強には大事なことがたくさん盛り込んである中で、「体力」や「運動」という言葉がここにしかないことがすごく心配です。もしここでやるなら一番上に上げてほしいと思います。運動に関するところがここにはあまりないことが心配になっていますが、いかがでしょうか。

■教育長 梶屋教育研修所長。

■教育研修所長 ありがとうございます。実は県からの令和4年度の方針・重点の中には、やはりそこを危惧した内容があり、平成30年度の体力測定の合計点に戻すという目標が書かれています。今回修正していく段階でも話題になり、健康教育担当の者もその部分に十分危機感を感じています。部活動もなく、コロナの関係があるので難しい部分もあったのですが、運動の制限があり本当に体を動かす部分が少なくなっているのは事実です。

しかし、徐々に状況が変わりつつありますので、そういった部分を踏まえながら、文言はここに1つではありますが、学校へ指導していく中で、体力づくりや、これまで止まっているものもありますので、そういったものをまた戻し、子どもたちの体力の向上に努めていただく指導は続けていきたいとは考えております。

この健康の教育の部分、健康や体力の増進、食育、食に関する部分、この一行しかないですが、ここを重要な部分として、先ほどの教育相談もそうなのですが、このコロナ禍の影響をもろに受けている部分でもありますので、令和4年度、指導に力を入れていきたいと考えております。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 今もまん延防止等重点措置で学校関係の施設は利用しないこととしていますが、スポーツ施設は時短であって、全ての施設を閉めるわけではなく、子どもたちの運動する機会を確保しております。それ以外に一般の方でも、今までだと延期・中止といったところがあったのですが、今回は各競技団体で対策をとってやっていただくということで、市の方から延期・中止してくださいということとは言わず、運動ができる機会を確保していただいております。昨年とは違って徐々にウィズコロナの中で運動をしっかりしていただいております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 西小学校に教育長訪問に行ったときに、そこで新任の校長先生が「うちの学校は昼休みになるとみんな校庭に行って何かしら体を動かしている」と言われていました。その時ちょうど昼休みで、子どもたちが動いているところを見ることができました。鉄棒をやっていたり、追いかっこをやっていたり、ボール遊びしていたりとすごく校庭が狭いぐらいでした。これが習慣になっていると聞いたので、中津川市の全ての学校にこんな習慣が生まれるといいことを考えたことがあります。

ました。

■教育長 ありがとうございます。他はいかがですか。

田島委員。

■田島委員 文化スポーツの方で、コミュニティスクールもこちらでお世話していくという話ですが、まちづくり協議会が今中津川市の中でも立ち上がりかけています。立ち上がったところもあります。まちづくり協議会はどうしたら学校に関わるのかというところで、私はコミュニティスクールとの上手な兼ね合いを試してみたらどうかと話もしていますが、文化スポーツ部はまちづくり協議会の係ではないですか。

■教育長 丹羽部長。

■文化スポーツ部長 まちづくり協議会は定住推進部の管轄なのですが、もちろんコミュニティスクールというような地域、教育のそういう協議会には積極的に参加していただくような仕組みづくりでという話をしております。今後また坂本を例にとって拡大する中では必ず入っていただくことで進めております。

■教育長 田島委員。

■田島委員 地域の方々、地域力が弱くなってきて、その中でまちづくり協議会を作ろうじゃないかと頑張っており、学校に入る糸口と考えていらっしゃるの、よろしくをお願いします。

また、文化スポーツ部は来年度、図書館機能・公民館機能を盛り込んだ交流センターの設立の準備で大きなエネルギーを注がなければいけないと思います。非常に大切な年だと思います。作る方の都合ではなくて、利用する方の立場に立って、後悔がないように、長く愛される場所を作り上げていっていただきたいと思っております。

重点が、この一枚ではとても寂しいと思えました。教育委員会の方はたくさんの方で書いてありますが、文化スポーツ部が一枚なので、寂しい、気合いが入っていないと思ったのですが、丹羽部長のお話ではこれの倍ほどの思いがあるということがよく分かりました。部署の方々に丹羽部長の人づくりの思いがしっかりと伝われば最高だと思えましたので、しっかり伝えて人づくりに励んでいただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

■教育長 丹羽部長。

■文化スポーツ部長 ありがとうございます。また細かな資料を提出するということは課題に置いています。今、それぞれ文化スポーツ部の関係団体・関係者については情報共有をしっかりとさせていただいて、意見交換をしながら事業を進めたいと思っております。その中でしっかりした柱を立てた状態で運営していきたいと思

っています。一枚で分かりにくく、説明が不足するところもありますが、この中の方針をしっかり皆さんの頭の中に入れていただいた状態で運営していきたいと書いております。ご意見ありがとうございます。

■教育長 ほかはよろしいですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第6号については承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 議第6号「令和4年度中津川市教育委員会の方針と重点について」は、原案どおり承認とします。なお、ご指摘いただいた点等につきまして、加除修正を加え、完成版を提出させていただきたいと思います。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

伊藤事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、3月下旬に臨時会を開催したいと考えています。ただ、人事異動の内示日程がまだ決まっていない状況で、その調整からまだ臨時会の日程を決められないので、決まり次第委員の皆様にはご案内差し上げたいと考えております。

■教育長 確定できず申し訳ないですが、今回は令和4年3月下旬、13時30分からにぎわいプラザ4-1会議室ということまで確認させていただき、またご案内します。よろしく申し上げます。

以上で、令和4年第3回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

[閉 会 (午後3時)]